

2022年3月期 第1四半期 決算説明資料

- 1) 決算概要
- 2) 決算のポイント
- 3) 国内売上高
- 4) 海外売上高
- 5) 商品群別売上高
[参考] 内訳
- 6) トピックス
- 7) 減価償却費と研究開発費
- 8) 上期・通期業績見通し
- 9) 業績見通し 修正のポイント
[参考] 商品群別売上高・地域別海外売上高
見通し/為替の影響

日本光電工業株式会社

銘柄コード: 6849

2021年8月4日

Fighting Disease with Electronics

 NIHON KOHDEN

1) 決算概要

	2021/3 第1四半期	2022/3 第1四半期	増減率 (%)
売上高	38,461	47,182	22.7
国内売上高	24,809	29,364	18.4
海外売上高	13,652	17,817	30.5
売上総利益 (売上総利益率)	19,428 50.5%	24,565 52.1%	26.4
営業利益 (営業利益率)	1,831 4.8%	6,423 13.6%	250.8
経常利益	1,581	6,743	326.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,060	4,537	327.8

(単位:百万円、単位未満切捨て)

← 為替影響除く: +28%

← 自社品
売上比率: 2021/3 Q1 68.7% → 2022/3 Q1 72.0%

← 販管費率: 45.7% → 38.5%

← 為替差損益: 差損4.3億円 → 差益2.0億円

平均レート	(2020/6)	(2021/6)
1米ドル	107.9円	108.9円
1ユーロ	118.1円	131.5円

2) 決算のポイント

売上高：前年同期比 22.7%増

- 国内：二桁成長。検査・手術件数が減少した前年同期に比べ一部製品の需要が回復。予算執行が延期・凍結となっていたITシステム商談が再開。政府予算を背景とした生体情報モニタ等の整備も継続。
- 海外：全ての地域で増収。米州、アジア州他が二桁成長。

営業利益：前年同期比 250.8%増

- 増収効果に加え、売上構成の良化により粗利率が改善したことから、大幅増益を達成。

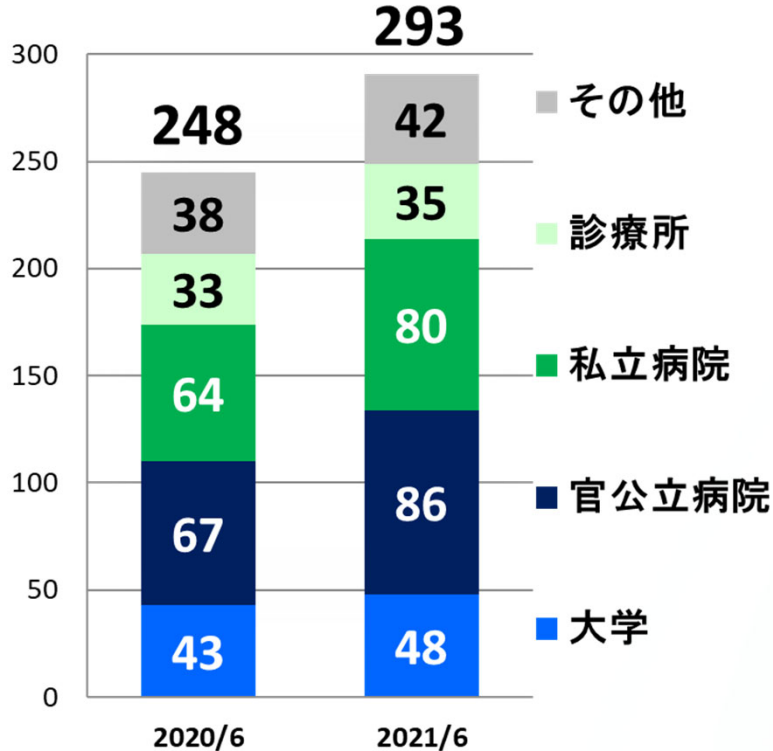
経常利益：前年同期比 326.5%増

- 為替差損益が差益に転じる。

3) 国内売上高

【市場別売上高】

(億円)



【商品群別売上高】

(単位:百万円)

	2021/3 第1四半期	2022/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	5,643	6,392	13.3
生体情報モニタ	7,732	10,827	40.0
治療機器	5,551	6,323	13.9
その他	5,881	5,822	△ 1.0
売上高合計	24,809	29,364	18.4

【市場別】 感染拡大により検査・手術件数が減少した前年同期に比べ一部製品の需要が回復、予算執行が延期・凍結となっていたITシステム商談が再開し、全ての市場で増収。官公立病院、私立病院市場は、政府予算を背景とした生体情報モニタ等の整備もあり、大幅増収。

【商品群別】 生体計測機器： 診断情報システム、心電計群、脳神経系群が二桁増収。心臓カテーテル検査装置群も堅調に推移。

生体情報モニタ： ベッドサイドモニタ、送信機、臨床情報システムが大幅増収。センサ類など消耗品も好調に推移。

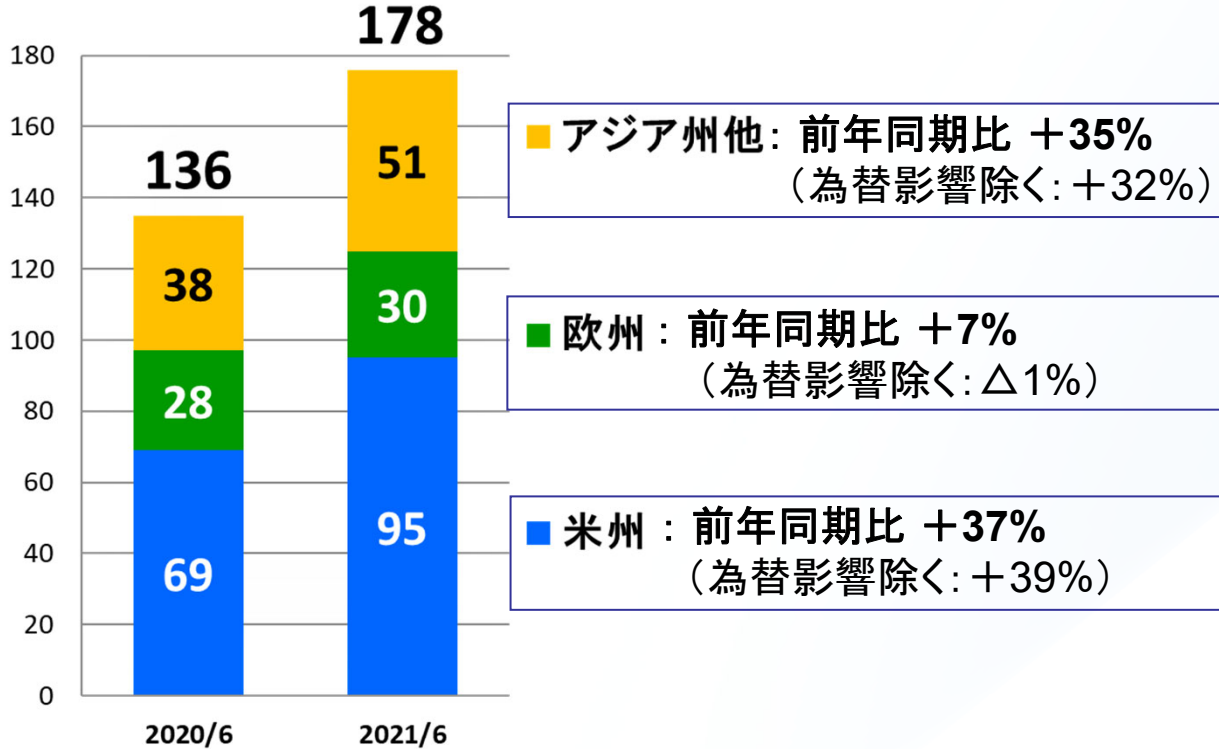
治療機器： AED、除細動器が好調に推移。人工呼吸器は前年同期の需要急増の反動により減収。

その他： 自社品販売の注力により、現地仕入品が減収。

4) 海外売上高

【地域別売上高】

(億円)



【海外売上高比率】

2021/3 第1四半期	2022/3 第1四半期
35.5%	37.8%

【商品群別売上高】

(単位: 百万円)

	2021/3 第1四半期	2022/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	1,698	2,179	28.3
生体情報モニタ	7,650	10,075	31.7
治療機器	3,163	4,035	27.6
その他	1,139	1,526	34.0
売上高合計	13,652	17,817	30.5

為替影響除く: +28%

- 【地域別】 米州: 米国は、生体情報モニタの大口商談が売上をけん引し二桁成長。中南米では、ブラジル、ペルーを中心に売上が倍増。
 欧州: 大幅増収となった前年同期の反動から現地通貨ベースで減収も、円ベースでは増収。
 アジア州他: 感染再拡大によりインド、タイでの売上が倍増。中国も好調に推移。
- 【商品群別】 生体計測機器: 脳神経系群が米国、中国で回復、欧州で好調に推移。心電計群は米州、欧州で増収。
 生体情報モニタ: 米国が大幅増収。インド、中南米で売上が倍増。欧州、中国、中近東は前年同期の需要急増の反動により減収。
 治療機器: 全ての地域でAEDが回復、除細動器も好調に推移。人工呼吸器は前年同期の需要急増の反動により減収。
 その他: 全ての地域で血球計数器・試薬が回復。

5) 商品群別売上高

(単位:百万円)

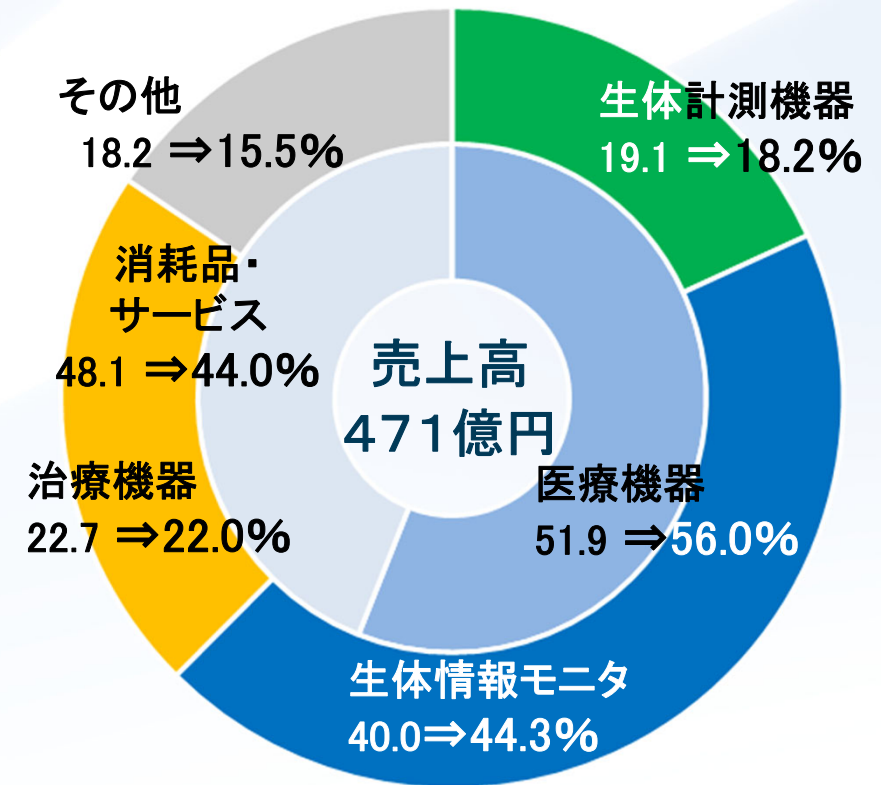
	2021/3 第1四半期	2022/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	7,342	8,571	16.7
生体情報モニタ	15,382	20,903	35.9
治療機器	8,714	10,358	18.9
その他	7,021	7,349	4.7
売上高合計	38,461	47,182	22.7

(ご参考)

消耗品・サービス	18,502	20,760	12.2
----------	--------	--------	------

商品群別売上構成比

(2020/6 ⇒ 2021/6)



[参考] 商品群別売上高の内訳

(単位:億円、単位未満切捨て)

生 体 計 測 機 器	2021/3 第1四半期	2022/3 第1四半期
脳 神 経 系 群	11	15
心 電 計 群	13	15
心臓カテーテル検査装置群	30	32
その他(診断情報システム等) [※]	17	22

※診断情報システムや他社製の生体計測機器を含みます。

治 療 機 器	2021/3 第1四半期	2022/3 第1四半期
医 科 向 け 除 細 動 器	12	20
A E D	30	41
ペ ー ス メ ー カ ・ I C D	6	6
人 工 呼 吸 器	24	15
そ の 他	12	18

そ の 他	2021/3 第1四半期	2022/3 第1四半期
検 体 検 査 装 置	21	22
画像診断装置、研究用機器他 [※]	48	50

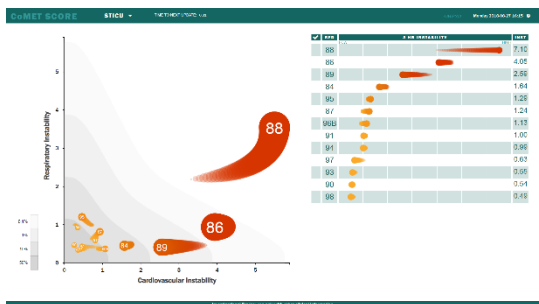
※他の商品群に分類されない、消耗品や設置工事・保守サービスを含みます。

6) トピックス - 米国生体情報モニタリング事業

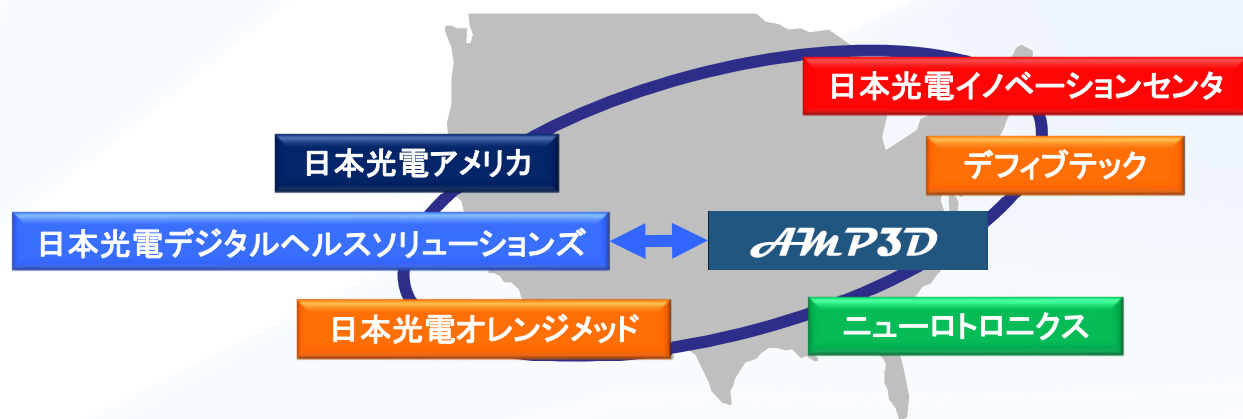
米国AMP3D(アンプスリーディ)社を買収

- 本社: 米国バージニア州
- 設立: 2013年
- 代表者: ケビン・パサレロ氏(社長兼CEO)
- 事業内容: 患者容態管理のためのアルゴリズム・ソフトウェアの研究開発

- 当社のDHS(デジタルヘルスソリューション)構想と高い親和性
- 現地開発体制を強化



CoMET®
Continuous Monitoring
of Event Trajectories



中位機種ベッドサイドモニタのFDA承認取得

2021年7月
FDA承認取得

2021年度下期
発売予定



CSM-1500/1700シリーズ

7) 減価償却費と研究開発費

(単位:百万円)

	2021/3 第1四半期	2022/3 第1四半期	増減額	2021/3 実績	2022/3 計画
減価償却費	722	756	33	3,236	3,800
研究開発費	1,464	1,324	△ 139	6,357	6,600
			設備投資額	3,524	4,100

●2022/3設備投資計画

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、IT投資、工場生産設備

8) 上期・通期業績見通し

(単位: 億円)

	2021/3 実績		2022/3 予想					
	上期	通期	期初	上期 8月4日 修正	増減率 (%)	期初	通期 8月4日 修正	増減率 (%)
売上高	872	1,997	885	960	10.0	1,855	1,905	△ 4.6
国内売上高	562	1,372	—	—	—	1,280	1,305	△ 4.9
海外売上高	309	624	—	—	—	575	600	△ 3.9
売上総利益 (売上総利益率)	443 50.8%	1,022 51.2%	—	—	—	921 49.6%	957 50.2%	△ 6.4
営業利益 (営業利益率)	87 10.0%	270 13.6%	65 7.3%	110 11.5%	25.6	160 8.6%	180 9.4%	△ 33.6
経常利益	82	283	65	110	33.9	160	180	△ 36.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	58	182	45	75	28.7	110	120	△ 34.2
海外売上高比率	35.5%	31.3%				31.0%	31.5%	

為替影響除く: △5%

※第2四半期以降の前提為替レートは、107円/米ドル、127円/ユーロです。

9) 業績見通し 修正のポイント

通期売上高
(前回予想から
50億円増)

国内売上高
(同25億円増)

- 検査・手術件数の回復やITシステム商談の再開により、医療機器、消耗品・サービスともに想定を上回る見通し
- 9月末まで政府予算を背景とした医療機器の整備が継続する見込み

海外売上高
(同25億円増)

- 注力する米国・中国が引き続き堅調に推移する見通し
- 感染再拡大の地域において、COVID-19に対応するための医療機器の整備が進む見込み
- 通期の為替レート的前提を円安方向に見直し
(1米ドル:105円⇒108円、1ユーロ:125円⇒128円)

営業利益・経常利益
(同20億円増)
親会社株主に帰属する
当期純利益
(同10億円増)

- 売上高が期初予想を上回る見込みのため、上方修正
- 売上構成の良化により、粗利率も期初の想定を上回る見込み

※ COVID-19感染再拡大や部品供給のひっ迫などの不確定要素もあり、業績予想の修正の必要が生じた場合には速やかに開示します。

[参考] 商品群別売上高・地域別海外売上高見通し / 為替の影響

(単位:百万円)

	2021/3 実績	2022/3予想			増減率 (%)
		期初	8月4日修正	構成比(%)	
生体計測機器	37,586	40,700	40,900	21.5	8.8
生体情報モニタ	78,818	70,900	74,300	39.0	△ 5.7
治療機器	45,126	36,100	37,150	19.5	△ 17.7
その他	38,196	37,800	38,150	20.0	△ 0.1
売上高合計	199,727	185,500	190,500	100.0	△ 4.6

	2021/3 実績	2022/3予想		増減率 (%)
		期初	8月4日修正	
米州	30,288	29,000	29,800	△ 1.6
欧州	13,139	9,500	9,600	△ 26.9
アジア州他	19,024	19,000	20,600	8.3
海外計	62,452	57,500	60,000	△ 3.9

為替影響除く: △5%

(ご参考)

消耗品・サービス	85,890	87,200	89,700	47.1	4.4
----------	--------	--------	--------	------	-----

平均レート

	2021/3 実績	2022/3 予想
1 米ドル	105.9円	108円
1 ユーロ	123.1円	128円

為替感応度の概算値(年間)

	売上高	営業利益
米ドル	3.6億円	1.0億円
ユーロ	0.6億円	0.2億円

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】 経営戦略統括部

【連絡先】 TEL03-5996-8003